

観光分野の現状と課題及び施策体系

現状と課題

① 環境変化に柔軟に対応した新たな観光スタイルの確立

- 新型コロナウイルス感染症の拡大による海外渡航や入国規制、国内での人の移動の制限等により、本区の観光事業も深刻な影響を受けています。インバウンド（訪日外国人客）の回復の見通しが立たない中、感染リスクを抑え、誰もが安全・安心に観光を楽しむことができる受け入れ体制の整備が求められます。また、リアルとデジタルを融合させた新しい観光スタイルの取組をはじめ、マイクロツーリズムの視点を取り入れた地域資源の開拓や磨き上げを推進し、訪れる側も受け入れる側も楽しめ、区内周遊を高めるような観光サービスの充実を図る必要があります。加えて、今後の観光需要の状況を見極めつつ、インバウンドの回復を見据えた取組も段階的に進めていくことも重要です。

② 観光資源の活用による新たな魅力の創出

- 本区には、特別名勝である庭園や由緒ある寺社、史跡等が数多くあるほか、東京ドームや本区のランドマークでもあるシビックセンター等、豊富な観光資源に恵まれています。今後は、こうした資源に加え、文化・芸術、スポーツ等、他分野との融合による新たな観光ルートの提案や、ストーリー性の付加により、その価値を高めていく必要があります。また、本区には、来訪者の知的好奇心を満たし、気軽に本区の魅力に触れられるガイドツアーが充実しています。引き続き、国内外からの来訪者をおもてなしの心で迎えられよう、多様な人材による観光ボランティアの育成を図るとともに、オンラインツアーやガイドツアーの動画配信等、ボランティアの新たな活躍の場を提供することが求められます。

③ 区内観光の情報の収集・活用による来訪促進

- 文京区アカデミー推進計画に関する実態調査では、国内外の観光情報の入手方法として、「旅行サイト」が最も多く、ICTを活用した情報収集が浸透していることがわかります。区内の観光情報を一元化し、いつでも・どこでも入手できるようなプラットフォームの充実化が求められます。また、SNS、YouTubeなども情報発信・共有のツールとして若者や外国人の間で主流になっており、口コミを誘発することで注目されています。今後は、こうしたツールも積極的に活用し、区内留学生や在住外国人も取り込んだ新たな視点による情報発信を展開していく必要があります。一方、「旅行ガイドブック」「家族や友人などの口コミ」も入手先の上位に挙げられていることから、手軽に観光情報を入手できる紙媒体による情報発信も必要です。様々な手法により誰もが気軽に情報を享受できる環境を整備し、本区への関心や認知度を高め、来訪を促進することが重要です。

④ 区民・来訪者から愛され続ける観光振興の推進

本区は、国内13自治体と協定等を締結するとともに、海外の姉妹都市・友好都市等との交流を進め相互理解に取り組んでいます。今後も観光交流交歓やイベント等を通じ、本区との関係性を一層深めていくことが求められます。また、観光施設のほかスポーツ施設等との連携により、区の新しい魅力を発信していくことも重要です。区民と来訪者等の交流機会を増やし、関係人口や交流人口を創出することにより、両者の「文の京」への愛着を育み、消費拡大や再来訪につなげることが必要です。

施策体系（案）

| 基本方針 | 施策 |
|---|---|
| I. 区内まるごと回遊の促進 ・本区の多彩な観光資源を継承し、磨き上げ、地域の魅力を高めるとともに、区民や来訪者、外国人等の様々な視点や他分野との連携等による新たな切り口から、独自の観光資源を創出し、育み、持続可能な観光を推進していきます。 | ア 観光資源の磨き上げと新たな魅力の創出 イ マイクロツーリズムの推進による回遊性の向上 |
| II. いつでも・どこでも。世界をつなぐ観光情報・魅力の発信 ・本区の情報多様な媒体を通じて国内外に発信し、旅マエ・旅ナカ・旅アトのいつでも、どこからでも手軽に必要な情報を入手できる環境を整え、本区に対する関心や来訪意欲を高めます。 | ア 様々な人に向けた多彩な情報発信 イ 情報発信環境の整備 |
| III. つながりから生まれる観光の推進 ・他分野との連携により、これまで交流が希薄だった人たちとの関係性を築くとともに、国内外の友好都市等との交流や関係を深めることなどにより、従来とは異なる本区の魅力や新たな可能性を見出し、新しい「文の京」の観光につなげます。 | ア 他分野(文化・芸術、スポーツ等)との融合 イ 国内・海外友好都市等との連携 |
| IV. 何度でも訪れたいくなるおもてなしの環境整備 ・誰もが安心して快適に区内観光を楽しめる受入環境を整備します。また、多様な人材によるボランティアを育成し、おもてなしの心を醸成することで、区民はもとより国内外からの来訪者が本区に愛着を感じ、再訪したくなる、受け入れ体制を整えます。 | ア 観光客の受入基盤整備 イ 多様な人材の育成・活用 |